

Legacy?

メインフレーム、
その進化の歩みは
止まってしまったのでしょうか。



NO!

進化し続けるプラットフォーム。それがオープンメインフレーム。



IBM @server[®] zSeries[®] ミドルウェアは、 メインフレームにある 情報資産の有効活用を促進し、 オンデマンド・ビジネス環境を実現。

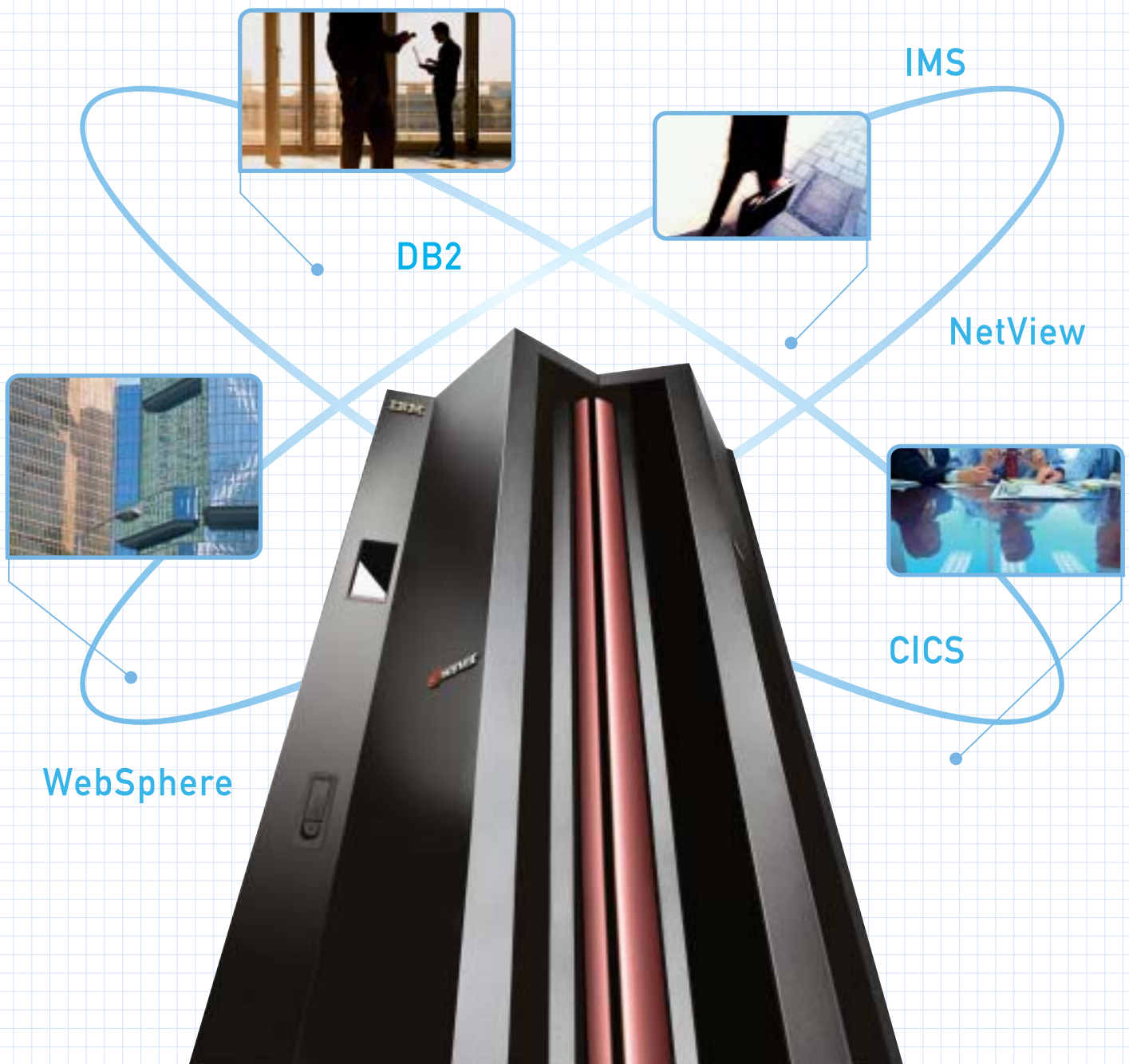
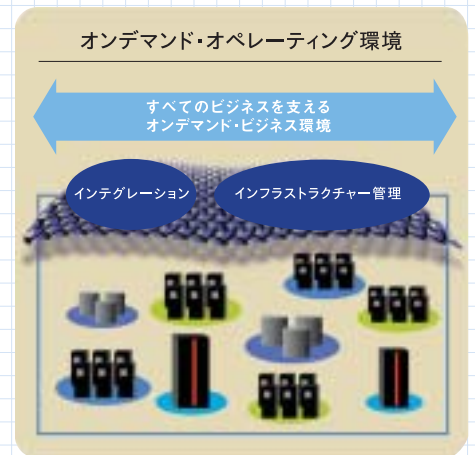
1964年、IBMは世界初のメインフレームとしてS/360[™]を世に送り出しました。以来、ビジネス・コンピューティングは目覚ましい進化を遂げ、それとともにビジネス環境も激変。市場の要求をいち早く察知し、それに瞬時に応える態勢を整えるための「即応性」、「柔軟性」、「集中化」そして「回復力」を備えたIT環境が必要になっているのです。また、目前のものとなった「2007年問題」への対策も講じる必要があるかもしれません。このような状況において、メインフレームは時代遅れのものとなってしまったのでしょうか。

いいえ。このような時代の変化に応えられるのが、まさにオープンメインフレーム – IBM eServer[®] zSeries[®]です。zSeries[®]では、新たなオペレーティング・システムz/OS[®]と、DB2[®]、IMS[™]、CICS[®]、WebSphere[®] Application Serverなどのミドルウェアによってオンデマンド・オペレーティング環境を実現。企業情報システムのバック・エンドからフロント・エンドまでを統合し、人と情報をエンド・ツー・エンドで結ぶオンデマンド・ビジネスを実現することによって、貴社のビジネス変革を支援し、膨大な情報資産を活かすことにより、ビジネスを拡大します。

いまお使いのメインフレームは、貴社のビジネス変革に対応できていますか。膨大な資産を有効に活用できていますか。最新のzSeriesとz/OSやIBM eServer[®] zSeries[®]ミドルウェアによって、オープンなメインフレーム環境を手に入れることが可能になるのです。

メインフレームからオープンメインフレームへ

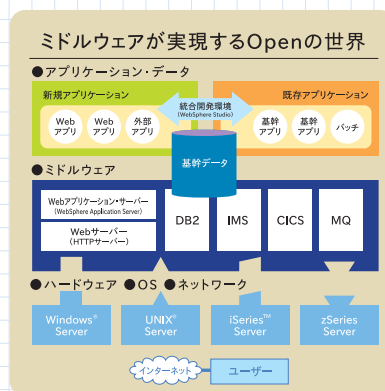
オンデマンド・ビジネスに対応するスピードと柔軟性を手にするためには、さまざまなデータベースに蓄積された貴重な情報資産を、自在に組み合わせて素早く利用できる環境や、SOA（サービス指向アーキテクチャ）に基づくアプリケーション開発、J2EEなどのWebアプリケーション・サーバーなどオープンなシステム環境をサポートする必要があります。IBM eServer zSeriesは、メインフレームの堅牢性を継承しつつ、ミドルウェアによってプラットフォームに依存しないアプリケーションの利用環境を提供しています。zSeriesは、従来のメインフレームでは難しいオープン化を、ハードウェア、オペレーティング・システム、ミドルウェアの協調によって実現し、将来にわたるオンデマンド・ビジネスを実現するオープンメインフレーム・サーバーとして、基幹系、情報系の枠を超える中核システムとして機能し続けます。



既存資産の有効活用

メインフレームは、これまで多くの場合、ミッション・クリティカルな大規模オンライン・トランザクションなどの基幹系業務の処理を担ってきました。そこに求められたのは、耐障害性、スケーラビリティ、セキュリティ、柔軟性、そして管理機能を併せ持つ最高水準の処理性能でした。今後も、その重要な役割を果たしながら、さらに、Webサーバー、Webアプリケーションなどオープンな情報環境と連携することで、ビジネスが求める柔軟かつ迅速な情報活用を実現する推進力となることが期待されています。

オープンメインフレーム・サーバーとしてのIBM eServer zSeriesは、z/OSやzSeriesミドルウェアとともに、既存のメインフレームに蓄積された貴重なソフトウェア資産を継承しながら、オープンな情報環境への展開を可能にします。またIBMは、IBMメインフレームおよびzSeriesのお客様に対して、将来的な投資計画のためのフレームワーク「IBMメインフレーム憲章」や「zSeriesマニフェスト」を発表し、一貫した価値を提供していくことを約束しています。今後もIBMは、zSeriesを発展させていくことで、お客様のビジネスに貢献するシステムを提供し続けます。

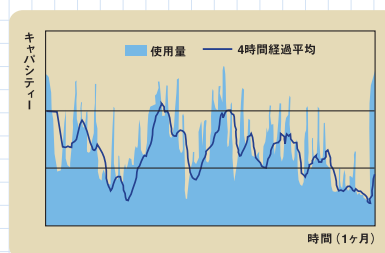


zSeriesならスムーズにオンデマンド・ビジネスをサポート

「オープン化」だけを目的にメインフレームから他のサーバーにリプレースすることで、かえってビジネスに支障をきたすことがあります。容易にオープンサーバーを追加しても、既存の情報資産を活かすことができなくなったり、あるいは移植のために必要以上のリスクを負うことになる場合があります。これにより、システム管理が複雑になってしまい、管理コストの高騰や、信頼性が低下するなどの問題が発生することもあります。結果、オープン化のメリットを享受することも、TCOの削減も期待できないなどという事態もありません。

IBM eServer zSeriesならスムーズなオープン化を実現するとともに、システム構成を複雑化させることなく、シンプルにサーバー統合ができ、一元的な集中管理も可能になります。zSeriesなら、ハードウェア、ソフトウェア、ミドルウェアにより高性能な資源配分を実現するので、オンデマンド・ビジネスの要求に、柔軟・迅速に対応することができます。

さらに、zSeriesではオンデマンド時代に対応した「ワークロード使用料金方式 (Workload License Charges : WLC)」をいち早く適用しました。WLCはお客様が使用した処理能力に応じてソフトウェア料金を課金する料金方式で、より柔軟で適切なソフトウェア料金をご提供します。

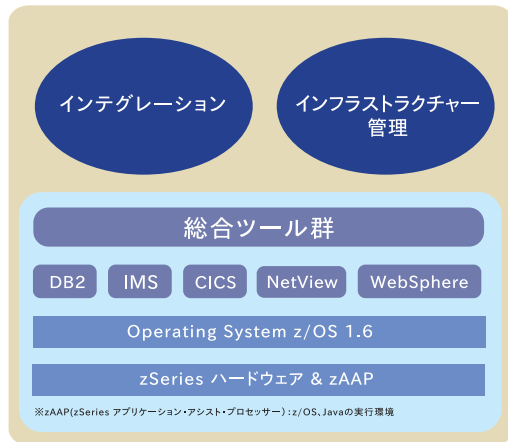


分散システム、メインフレームの垣根を超えたシステムの統合管理

メインフレーム上で、Webアプリケーションを稼働させることにより、メインフレームの堅牢性を享受することが可能。運用面においては、メインフレームで蓄積されたスキルをそのまま活用し、IBM eServer zSeriesによってIT環境を統合的かつシンプルに運用することができます。さらに運用管理機能を使用することによって、zSeriesを核に分散環境、メインフレームの枠を超えてシステム管理を一元化することができます。開発面においては、蓄積されたCOBOLなどの既存の基幹アプリケーションを活用できるばかりではなく、新規アプリケーションでは分散環境のスキルを活用し、ホストのアプリケーション開発もJava®アプリケーションと同等に開発・テストを行うことができます。また、開発・運用・監視などをサポートするツール群も充実し、zSeriesでのアプリケーションの開発・運用を強力にサポートします。

もう対応はお済みですか？

Platform Readiness～オンデマンド環境に準拠したプラットフォーム



ミッション・クリティカルなビジネスをオープンにする、ミドルウェアと管理ツール

■DB2ファミリー

IBMのリレーショナル・データベース管理システム (RDBMS) であるDB2 Universal Database™ (DB2 UDB) を核に、ビジネス・ニーズに対応した関連ソフトウェア製品を提供。メインフレームに蓄積される大量な情報の、安全で柔軟な管理・展開を実現します。

■IMSファミリー

メインフレームとともに36年の歴史を持つIBM IMS™は、IBMが提供するトランザクション管理と階層型データベース管理を行います。超大規模トランザクションの管理や、Webサービス、XMLのサポートなどにより、複数の外部データベースおよびネットワーク上の分散情報の検索や構造化を行い、基幹システムとオープン環境とを連携します。

■CICSファミリー

S/360の時代から利用されている基幹系オンライン・トランザクション・モニターです。Webからのアクセスを実現するさまざまなインターフェースが提供され、複数のプログラミング言語やミドルウェアからの利用ができます。

■WebSphere Application Server (WAS)

WebSphere Application Serverは、WebSphereソフトウェア・プラットフォームの基盤となるJavaベースのアプリケーション・サーバーです。J2EEに完全準拠し、拡張性・可用性・パフォーマンスに優れたさまざまな機能を提供。メインフレームの情報をオープン環境で利用するための中心的な役割を担います。

■WebSphere MQファミリー (MQ)

メッセージ・キューイング・モデルによるアプリケーション間通信を行うミドルウェアWebSphere MQを核に、企業内外の異機種システム間のアプリケーション連携に関わるさまざまなソリューションを提供します。

■Tivoli® NetView® for z/OS

NetViewはSNA、TCP/IPのネットワークを柔軟に管理する包括的なネットワーク管理ソリューションです。刻々と変化するシステムのどこで、何が起きているかをエンド・ツー・エンドで把握し、問題に対してリアルタイムに対処します。



IBM @server zSeries 990

卓越したパフォーマンスと柔軟性を備えた最上位オープンメインフレーム



IBM @server zSeries 890

zSeries990のオープン性と最新機能を継承した普及型オープンメインフレーム

いまお使いのメインフレームをオンデマンド時代対応のサーバーに変革させる
IBM eServer zSeriesミドルウェア。詳しい情報はWebサイトにアクセスしてください。

ibm.com/jp/software/zseries

